



## 新型コロナウイルス感染症とDVについて

新型コロナウイルス感染症に伴い、外出自粛や休業、在宅勤務など自宅で過ごす時間が増え、生活不安・ストレスにより、配偶者等からの暴力（DV）の増加や深刻化が懸念されています。



DVは重大な人権侵害であり、どのような状況であっても決して許されるものではありません。また、被害者が相談し、支援や保護を受けられる環境が必要です。

## DVに対するの政府の対応

政府の新型コロナウイルス感染症対策本部では、児童虐待やDV対策についての議論が行われ、安倍総理からも、「社会不安が高まる中で、社会的に弱い立場にある人々をしっかりと守っていくことが政府の務めです。」「児童虐待防止対策とDV防止対策を連携させ、家庭内での暴力の根絶や被害者の支援に向けて、政府を挙げて取組を強

化していく必要があります。関係閣僚においては、一層の取組の強化をお願いします。」との発言がありました。さらに、政府の感染症対策の基本的対処方針にも、配偶者暴力等に対応するため、地方公共団体と連携し、適切な支援を行うことが明記されています。

## DV相談プラスについて

政府は、今のDV相談対応体制では相談者に対して十分な対応ができない可能性があるため、4月7日に決定した「緊急経済対策」に、「配偶者暴力の深刻化に対応するための相談体制の拡充」を盛り込み、同月20日から新たな相談窓口として、「DV相談+（プラス）」を開設しました。



DV相談プラスでは、多様なニーズに対応できるよう、毎日24時間電話相談に対応するほか、WEB面談や外国語相談にも対応しています。また、配偶者が常に家にいて電話ができない環境にある場合も、SNSやメールで相談ができます。そして相談にとどまらず、各地域の民間支援団体と連携し、必要な場合には同行支援なども行います。



（裏面に続く）

4月20日にDV相談プラスが開設してから5月19日までの1か月の間に寄せられた相談件数は、次の通りです。

- 電話 2,487件  
(1日平均約85件)
- メール 1,048件  
(1日平均約35件)
- SNS 864件  
(1日平均約30件)

全国の配偶者暴力相談支援センターでは、本年4月の相談件数が13,223件となっており、昨年4月の10,295件から、約3割増加しています。

## 一人で悩まずに相談しましょう

政府の機関だけではなく、市でも女性相談窓口を設けています。DVで不安を感じたら、一人で悩まず、下記の相談窓口にご相談してください。

また、周りに被害で困っている方がいる場合には、相談窓口の情報を共有していただき、一人でも多くの方が相談・支援につながるようご協力をお願いします。



## DV・デートDVに悩む方のための相談窓口

市や道では、配偶者や交際相手からの暴力等に悩む方からの相談をお受けしています。

配偶者の方については「配偶者からの暴力の防止および被害者の保護に関する法律」により、専門の相談や必要に応じて一時保護、配偶者の接近禁止などの申立制度などが定められています。

配偶者暴力やデートDVでお悩みの方は、下記までご相談ください。



### ●美唄市役所企画広報課広報情報係

☎0126-63-0113 (平日8時45分~17時15分)

### ●配偶者暴力相談支援センター(空知総合振興局内)

☎0126-25-5648(平日9時~17時)



## 空知総合振興局主催の 「女性活躍推進セミナーinそらち」に参加しました

1月21日、岩見沢市で空知総合振興局主催の「女性活躍推進セミナーinそらち」が開催され、本協議会の会員2名が参加しました。

前半は日本銀行札幌支店長の小高咲（こたか しょう）さんによる基調講演、後半では小高さんを含めた6人のパネリストによるトークセッションが行われました。

「女性が活躍できる社会について考える～北海道の足もとの状況を踏まえて～」をテーマにした基調講演では、「北海道の経済について緩やかな拡大が続いている一方で人手不足が進んでおり、人口減少により経済成長率も下がっている状況にある。女性活躍によりそれらを解消できる可能性があり、そのためには働き方改革や働き手のニーズに合わせた雇用条件への変更、保育環境の整備が必要である。」と、全国の事業所で取り組まれた事例や統計資料をもとに説明されました。



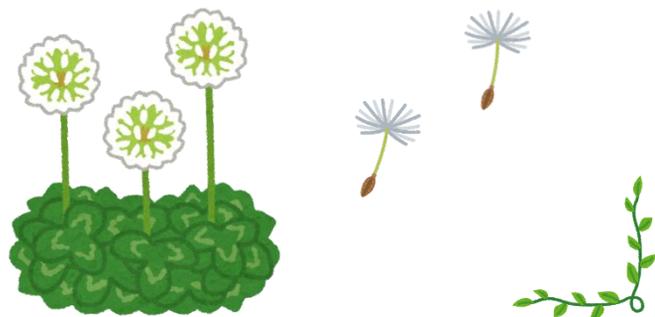
トークセッションでは岩見沢市内で障がい者の経済的な自立を支援するために就労継続支援事業B型「パティスリー空香」を創業した矢島幸子さん、夫婦で農業をするために京都府から長沼町に移住してきた坪井紀子さん、都市環境に興味を持って土木業である株式会社砂子組で女性技術者として働く

山口紗季さんの3人をメインのパネリストに、それぞれ新しい仕事に就くまでの経過や女性活躍に対する現状などが紹介されました。



「3人のように志のある人もいれば、そうではない人が大多数である。そんな人たちはどう入っていけばいいか」との話に、3人からは「興味を持つことが大切。好きと思えるものを突き詰める」「仲間と一緒に何かをするのが好きだから続けられている」「人の心に興味を持ったのが入り口だった」などの意見が出され、好きで稼げるのは難しいけれど興味のある事を掘り下げていくことから、やりたい事を見つけるといいかもしれません、と締めくくられました。

今回のセミナーに参加させていただき大変勉強になりました。主催の空知総合振興局の担当者様、講師及びパネリストの皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。



## Duoの会屋外活動

Duoの会の存在や活動内容を知っていただくため、8月の歌舞裸まつりと2月の雪んこまつりにおいて、来場者の方に会報配布などを行い、PR活動をしています。

今後もより多くの方に「男女共同参画」について知っていただくために、さまざまな活動を行っていきますので、会報「Duo」をぜひご一読ください。



2月の雪んこまつりでの啓発活動風景

## Duoの唄 皆さんからの作品を募集しています!

このコーナーでは、男女共同参画に関するさまざまな思いを綴った唄を掲載しています。特に決まった形式ではなく、身近な生活の中で感じたことや疑問に思っていることなどを、川柳のような短い言葉で表現したものです。

### Duoの唄大募集!!

どなたでも大歓迎ですので、自身で作った唄を会報に載せてみませんか?興味のある方はぜひ事務局まで。

また、掲載させていただいた方にはささやかですが**景品を進呈**いたします。

応募多数の場合は、作品を選定させていただきますので、あらかじめご了承ください。

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症が世界中で流行している中、日本ではようやく緊急事態宣言が解除され人の流れが戻り始めています。今年は歌舞裸まつりが中止になり、会場で直接皆さまに会報紙を配布できずとても残念です。自粛続きでなかなか以前のような生活には戻りませんが、マスク着用・手洗いうがいを徹底して感染症に負けず、元気に過ごせるように頑張りましょう。  
(OSaKaNa3)

## 「美唄市男女共同参画推進協議会（通称Duoの会）」会員募集中!

新規会員を募集しています。男女共同参画社会づくりに向けて学習し、家庭や職場・地域など身近な場面で取り組んでいくことを目的としています。興味のある方は、ぜひご連絡ください。

### ◆入会申込・問合せなど◆

事務局（美唄市役所企画広報課広報情報係内）TEL 0126-63-0113へ